

科目名		3DインテリアI			
担当教員		木戸 久美子		実務授業の有無	有
対象学科		インテリアデザイン科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	実習	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		コーディネーターの実務上必要な、プレゼンテーションの必要性と技法を学び、3Dインテリアデザイナーの基本操作を習得しコンペ作品等に対応する実習 1. 座学→演習→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う 2. 見せ方描き方学び、訴求力のあるプレゼンテーションスキルを習得する 3. 顧客のニーズやインテリアトレンドを取り入れ、条件に即したコーディネートを目指す			
学習目標 (到達目標)		3Dインテリアデザイナーの基本操作を学びながら、インテリアの基本知識とコーディネート力を身に付け、訴求力のあるプレゼンテーション技法を学びます。実務におけるプレゼンテーションの重要性を理解し、コンペや就活に活かせる作品をつくる。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		超図解で全部わかる インテリアデザイン入門 3DインテリアデザイナーNeo3			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	ソフトセットアップ ①プログラムのセットアップ及び、ライセンス認証の実行 ②操作画面・機能紹介			方法：機能と操作方法について解説する。演習課題に取り組み基本操作を身に付ける。 準備学習：演習課題に取り組み、手順を練習する。	
2	インテリアエレメントについて講義 ①主な内装材の種類について ②家具の配置、照明計画、窓装飾について			方法：作成・操作方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本操作が理解できている。 準備学習：演習課題に取り組み、手順を練習する。	
3	演習1①：「マンションの間取り作成とインテリアコーディネート」 ・顧客の条件に合わせたインテリアスタイルを決める ・間取り編集から壁・柱・天井の作成 ・照明・窓装飾の配置			方法：作成・操作方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本操作が理解できている。 準備学習：演習課題に取り組み、手順を練習する。	
4	演習1②：「マンションの間取り作成とインテリアコーディネート」 ・立体化にて内装材（床・壁・天井）の配置 ・住宅設備の配置 ・家具・照明・ファブリックスの配置			方法：作成・操作方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本操作が理解できている。 準備学習：演習課題に取り組み、手順を練習する。	
5	演習1③：「マンションの間取り作成とインテリアコーディネート」 ・プレゼンボードの作成 ・レイアウトの基本について学ぶ			方法：作成・操作方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本操作が理解できている。 準備学習：演習課題に取り組み、手順を練習する。	
6	演習2①：「JAPANTECHデザインコンペ2022」 ・コンペ課題の条件・概要について深く理解する ・作品イメージをまとめる ・作品テーマにつながるキーワードを見つける			方法：コンペ作品制作を通して、オリジナル作品制作を行う。 発表までの工程やクオリティ管理を行う。 目標：工程、精度とともに入賞を目的とする。 準備：配布プリント	
7	演習2②：「JAPANTECHデザインコンペ2022」 ・作品のコンセプトを考え、デザインにどう反映するか考える ・付帯条件を理解し、空間の全体イメージを決める ・作品で使用する、インテリアエレメント（要素）を決める			方法：コンペ作品制作を通して、オリジナル作品制作を行う。 発表までの工程やクオリティ管理を行う。 目標：工程、精度とともに入賞を目的とする。 準備：配布プリント	
8	演習2③：「JAPANTECHデザインコンペ2022」 ・3Dパースを完成させる ・ファブリックスサンプルの手配 ・完成訴求力のあるプレゼンシートを目指す			方法：コンペ作品制作を通して、オリジナル作品制作を行う。 発表までの工程やクオリティ管理を行う。 目標：工程、精度とともに入賞を目的とする。 準備：配布プリント	
9	コンペ作品発表 ①作品の発表 ②作品の講評			各自コンセプトや内容について発表し、講評・解説を行う。	
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
取組姿勢	課題			3DインテリアデザイナーNeo3の基本操作を学びながら、インテリアエレメントやプレゼンテーション技法について幅広く学ぶ。コンペに挑戦することで、自ら学び表現する力を習得する。トレンドの分析、配置計画、色彩計画を学び、訴求力のあるプレゼンボード制作を目指す。個人作業が主体となり、レベル差が出やすい内容であるため、適宜個人指導を行い技術の定着を図る。	
30 %	70 %		%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		インテリアコーディネーターの業務における歴19年			